

生涯学習概論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. ICTの発展や普及は、人々の生涯学習を支援する上で、多面的な影響を与えていると考えられる。「多面的な影響」とはどのようなものであるか、博物館における具体的な学習場面を想定して、課題も含めて800字以内で述べなさい。(30点)

2. 現在、学校において、「部活動の地域移行」の推進が図られている。この「部活動の地域移行」において、社会教育施設や社会教育関係団体が果たしうる具体的な役割について、400字以内で述べなさい。(15点)

3. 次の①～③の中から2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。その際、各事項のキーワード2つを必ず用いて説明しなさい。(各10点)
 - ① 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
キーワード：夜間中学、不登校

 - ② 地域学校協働活動推進員
キーワード：社会教育法、学校運営協議会

 - ③ アイスブレイク
キーワード：ゲーム、コミュニケーション

4. 次の文章の①～⑦に該当する適切な語句を、下記の□の中から選択し、解答用紙にはその記号を答えなさい。(各5点)

昭和56(1981)年の中央教育審議会答申「生涯教育について」では、生涯学習と生涯教育のそれぞれの考え方が示された。ここでは、生涯学習を「各人が(①)的意に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した(②)は、これを自ら選んで、生涯を通じて行うものである」とし、生涯教育を「この生涯学習のために、自ら学習する(③)を養い、社会の様々な(④)を相互の関連性を考慮しつつ総合的に整備・充実しようとするのが生涯教育の考え方である」とした。

その後、平成3(1991)年には、中央教育審議会答申「新しい時代に対応する教育の諸制度の改革について」において日本における生涯学習社会の考え方が示され、「社会のさまざまな(⑤)システムが相互に連携を強化して、生涯のいつでも自由に(⑥)を選択して学ぶことができ、その成果を(⑦)するような生涯学習社会を築いていくことが望まれる」とされた。

- | | | | |
|---|---------|---------|---------|
| ① | ア 自立 | イ 自発 | ウ 個人 |
| ② | ア 目的・目標 | イ 手段・方法 | ウ 時間・場所 |
| ③ | ア 心と身体 | イ 気力と体力 | ウ 意欲と能力 |
| ④ | ア 教育機能 | イ 教育施設 | ウ 教育機会 |
| ⑤ | ア 雇用・労働 | イ 教育・学習 | ウ 研修・訓練 |
| ⑥ | ア ICT | イ 学習機会 | ウ 生き方 |
| ⑦ | ア 広報 | イ 反映 | ウ 評価 |